

The background of the image is a wide-angle aerial photograph of a vast, dense layer of clouds. The lighting suggests either sunrise or sunset, with warm, golden-yellow hues on the horizon and upper cloud layers, transitioning to cooler blues and greys in the lower layers. The clouds are textured and layered, creating a sense of depth and atmosphere.

G R O U P G U I D E

社会と分かち合える価値を創造し、 持続的な成長を実現します。

技術も社会もすさまじい勢いで変化を続け、予期せぬ事態や画期的な技術の進展が世界中で起こっています。この状況の中でも、三菱ガス化学グループは独自技術を基盤に、社会の発展と調和に貢献することを使命としています。気候変動や資源・エネルギー問題、少子高齢化、医療・食品の安全性、IT技術の進展、顧客ニーズの多様化・変化の高速化など、私たちが直面する課題は多岐に渡ります。これらの課題に対し、私たちはこれまで常に新しい技術と価値の創造に挑み続け、社会とともに成長してきました。

今後も三菱ガス化学グループは環境循環型メタノール(CarbopathTM)、過酸化水素、高機能エンジニアリングプラスチックス、MXDAやMXナイロンなどの化学品・素材製品をはじめ、未来社会の発展・

構築に必要なエレクトロニクスケミカルズや光学材料、半導体パッケージ材料等を創出・提供し、また医食の課題に対応して医療包材(OxycaptTM)、脱酸素剤(エージレス[®])など多岐にわたる事業を展開して社会課題解決に貢献してまいります。また、地熱発電やCCUS(CO₂の回収・貯留・有効利用)等のエネルギー資源事業、抗体医薬をはじめバイオ技術関連といったライフサイエンスソリューション製品を通じて、カーボンニュートラルをはじめ、未来社会構築に必要な価値を提供してまいります。

AI、DX等の新技術の高度な展開は社会にさらに激しい変化の波を及ぼしますが、この変化の中においても持続的な成長を実現するためには、従来の枠にとらわれず、新たな事業を創出・育成し、進化

していくことが重要です。これにより私たちはオーガニックな成長とともに、新規事業領域を通じて今後も生じる社会課題を解決し、新たな価値を提供していくことを目指します。もちろん、社内およびグループ内にいる仲間たちが、個性を十分に發揮して元気に活躍できていることが大前提です。一人ひとりがその能力を向上・発揮することで、会社もまた大きく成長すると考えています。

三菱ガス化学グループは、ミッション「社会と分かち合える価値の創造」をもとに、経済的価値と両立する社会的価値を創造し、持続的な成長を実現してまいります。今後とも皆さまからのご指導・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

代表取締役社長 伊佐早 穎則





MGC Commons

三菱ガス化学株式会社(MGC)が運営するイノベーションセンターです。
この施設では、多様な人々の出会い・学び・成長を通じ、社会と分かち合える価値の創造を目指します。

■C1ケミカル事業

もっと広く、さらに強く。メタノールチェーンでGlobal Topへ。





三菱ガス化学グループはサウジアラビア、
ベネズエラ、ブルネイ、トリニダード・トバ
ゴでメタノールを生産しています。(写真:
Brunei Methanol Company(ブルネイ))

天然ガスを出発原料に、メタノール・アンモニアのケミカルチェーンを、基礎化学原料から機能材料に至る幅広い分野にわたって展開しています。現在ではCO₂や廃棄物から生成されるグリーンメタノールを介してエネルギーや素材を生み出すことを目指す環境循環型プラットフォーム"Carbopath™"の取組を推進しています。



メタノールは化学産業を支える基礎化学原料です。近年では非石油系燃料としても注目を集めています。



プラスチックや塗料などに使われるMMAは、三菱ガス化学が開発した新ACH法(硫安を副生しないグリーンプロセス)で生産されます。(写真:三菱ガス化学新潟工場のMMAプラント)



直接メタノール形燃料電池(DMFC)は
メタノールと空気を原料として電気をつ
くります。化学反応で発電するため、音が
静かで、大気汚染物質を発生しません。
通信機器等の長時間(72時間以上)バッ
クアップ電源としてご利用いただいてい
ます。



アンモニアは脱硝用の還元剤として使用
され、窒素酸化物を除去し、大気汚染防
止に貢献しています。(写真:アンモニア
輸送船)

主要製品

- メタノール
- ジメチルエーテル(DME)
- アンモニア
- アミン類
- メタクリル酸メチル(MMA)、メタクリル酸(MAA)、メタクリル酸特殊エステル類

■ハイパフォーマンスプロダクツ事業

オリジナリティへのこだわり。
不可能への挑戦。





三菱ガス化学水島工場では、厳密な安全管理のもと、超強酸を工業的に利用しています。(写真:三菱ガス化学水島工場)

超強酸技術を要に、メタキシレンチェーン、芳香族アルデヒド類など、三菱ガス化学グループだけがつくれるオリジナリティの高い製品を中心に展開しています。それらの製品は、繊維や合成樹脂、塗料などの原料や添加剤など暮らしや産業に欠かせないものばかりです。

主要製品

- メタキシレン
- MXナイロン (MXD6)
- 高純度イソフタル酸 (PIA)
- ホルマリン
- メタキシレンジアミン (MXDA)
- 芳香族アルデヒド
- 成型品
- ポリオール類

高機能製品

- ネオプリム®(高耐熱性無色透明ポリイミドワニス)
- マクシープ®(ガスバリア性2液型エボキシ樹脂)
- サーブリム®(熱可塑性ポリイミド樹脂)
- NeoFARIT®(半導体関連材料向け原料)
- アルテスタ®(耐熱非晶性ポリエスチル樹脂)
- サイテスタ®(熱硬化性シアネートモノマー)



生態系や人体への影響が懸念されるフッ素成分を含まない透明ポリミードフィルム「ネオプリム®」を世界で初めて量産化に成功



船体を保護する防食塗料にも、MXDAが使われています。



軽量化と安全性向上が求められる自動車部材。発泡ポリプロピレン製の後部座席コア材はどちらにも貢献し、全世界で普及が進んでいます。



透明で安全なポリプロピレン樹脂をつくるためにも、芳香族アルデヒドが使われています。



透明ポリイミドワニス「ネオプリム®」は無色透明性と300°C以上の耐熱性を活かし、スマートフォン部材等の情報通信分野での採用が進んでいます。

■ ライフサイエンス・エネルギー資源・環境事業

人を、社会を生かすこと。
ガスのチカラを引き出すこと。

ライフサイエンス分野で

長年培ってきた技術を活かし、バイオテクノロジーに基づく健康食品素材の開発製造も手がけています。



バイオテクノロジーを利用して製造されるPQQ(ピロロキノリンキノン)は、脳機能改善作用が期待される食品素材です。



SAME (S-アデノシルメチオニン)やSPD (スペルミジン)を高含有する機能性酵母を提供しています。(写真: SAME含有酵母)

主要製品

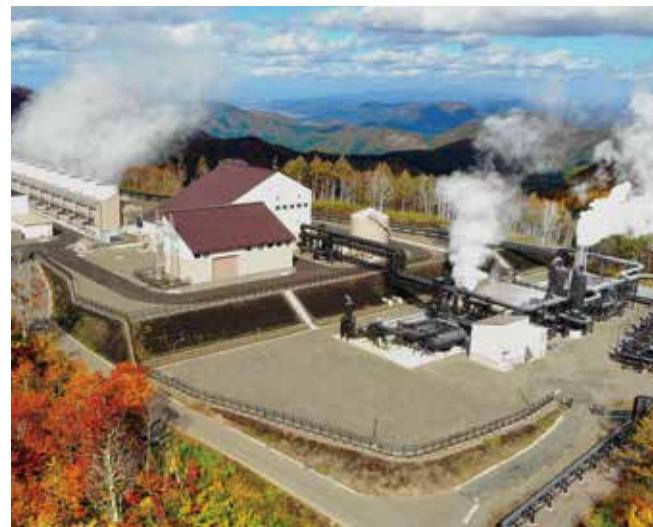
- 健康食品向け素材
PQQ(ピロロキノリンキノン)
SAME (S-アデノシルメチオニン) 含有酵母
SPD (スペルミジン) 含有酵母



培った動物細胞培養技術、製造プロセス開発力を活かして、抗体医薬品原薬の開発初期段階から製造までをカバー。高品質で安心な治療に貢献します。

エネルギー資源の開発で

石油・天然ガスの探鉱のほか、天然ガスを用いた火力発電や地熱発電にも事業参画し、クリーンエネルギー事業を推進しています。



地熱発電は季節、気候の変化の影響を受けないため、電力の安定供給に貢献します。CO₂排出量が小さく、地球温暖化の防止施策として有効なクリーンエネルギーです。
(写真:秋田県山葵沢地熱発電所)

主要製品

- 天然ガス・原油の採掘・探鉱
- 地熱エネルギーの開発
- 電力販売



新潟にある自社鉱区で採掘した天然ガスは三菱ガス化学新潟工場で原料・燃料として利用しています。(写真:新潟県岩船沖油ガス田)

■ 無機化学品事業

エレクトロニクスの進化を支える、 三菱ガス化学の想像力と創造力。

非塩素系漂白剤や工業用酸化剤として使われる過酸化水素や、主に半導体分野で使われる高純度な電子工業用洗浄剤を中心展開しています。将来の半導体産業の成長に備え、日本・韓国・米国・シンガポール・台湾・中国の各地において、半導体製造工程における洗浄用途で使用される超純過酸化水素の供給能力を拡大させています。



過酸化水素は非塩素系漂白剤として紙パルプの生産に多く使われるほか、家庭用漂白剤、工業用酸化剤、金属の表面処理など幅広い分野で利用されています。



過硫酸塩類はプリント配線板のエッチング剤や合成樹脂の重合開始剤などに使われています。

主要製品

- 過酸化水素
- 過硫酸塩類
- エレクトロニクスケミカル(電子工業用薬品)



超純過酸化水素をはじめとする三菱ガス化学グループのエレクトロニクスケミカルは半導体デバイス、液晶ディスプレイ、プリント配線板の生産に欠かせない薬品です。

合成樹脂事業

金属を超え、ガラスを超える。プラスチックの概念を超越する素材革命。

ガラスの250倍以上の耐衝撃性と高い透明性を備え、耐熱性、寸法安定性にも優れたポリカーボネート「ユーピロン®」をはじめ、ポリアセタール「ユピタール®」、高性能ポリアミド「レニー®」などのエンジニアリングプラスチックスを提供しています。



三菱ガス化学グループではエンジニアリングプラスチックスの海外生産拠点拡充を進めています。(写真:Thai Polyacetal Co., Ltd.(タイ))



ユーピロン®・フィルム、ユーピロン®・シートは、液晶TVやカーナビのパネルなどに使われています。



ユピタール®は自動車の重要な部材としても使われています。(写真:ユピタール® 製燃料ポンプユニット)

主要製品

- ユーピロン®(ポリカーボネート)、ユーピロン®・シート、ユーピロン®・フィルム
- ユピタール®(ポリアセタール)
- レニー®(高性能ポリアミド)
- ユビエース®(変性PPE)



三菱ガス化学グループでは、ポリカーボネート・シート、フィルムの開発も積極的に進めています。(写真:三菱ガス化学東京研究所)

■光学材料事業

高度情報化社会を照らし、映し出す きらめく七色の技術。

スマートフォン等のカメラレンズに使用される光学樹脂ポリマー「ユピゼータ®EP」や、世界最高レベルの屈折率を有するプラスチックレンズ材料をはじめとする多種多様な光学材料製品を開発しています。



ユピゼータ®EPは、スマートフォンなどの高機能小型カメラレンズに使われています。(写真:ユピゼータ®EP製光学レンズ)



三菱ガス化学の材料を使った眼鏡レンズは高屈折率が最大の特長であり、プラスチックレンズとしては究極の光学特性をもっています。

主要製品

- 光学樹脂ポリマー(ユピゼータ®EP、Optimas™)
- 超高屈折率レンズモノマー
- 溶剤可溶型特殊ポリカーボネート樹脂(ユピゼータ®)



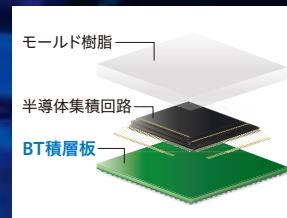
Optimas™はこれまでアクリル系樹脂の欠点といわれていた耐熱性、吸水性を大幅に改善し、車載部品、各種レンズ(AR、VR等)に使用されています。



■電子材料事業

技術が勝ちとった実績と信頼で、半導体の未来を支えていく。

半導体パッケージ基板などに使われるプリント配線板用積層材料を中心に、プリント配線板の小径孔あけ加工に使う補助材料「LEシート[®]」、データセンターで使用される高速伝送用プリント基板の原料として使用されている低誘電特性のOPE(オリゴフェニレンエーテル)樹脂など、電子産業に欠かせない製品を提供しています。



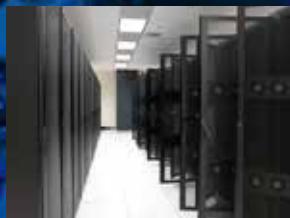
BT積層材料は半導体パッケージ基板としてトップシェアを誇ります。



BT積層材料を使った高性能半導体パッケージが、スマートフォンやタブレットPCなどの最先端モバイルを支えています。

主要製品

- プリント配線板用積層材料
- LEシート[®] (ドリル加工用補助材料)
- OPE(オリゴフェニレンエーテル)樹脂



三菱ガス化学のOPE樹脂は、その低誘電特性によりデータセンターで使用される高多層基板に求められる高速伝送性能を支えています。



LEシート[®]は微細化する配線パターンを支えるドリル加工用補助材料です。

(写真:米沢ダイヤエレクトロニクス(株))

■生活衛生ソリューションズ事業

おいしさ、きれいさを保つ空間制御技術の提供で、
食品や医療の安全を支える。

「食品をおいしく保つには、劣化の原因となる酸素を取り除けば
良い」、そんな発想から生まれた脱酸素剤「エージレス®」。現在
では脱酸素技術に加え、過酸化水素や過酢酸による殺菌技術も
加えた空間制御技術へと発展を遂げ、幅広い分野に向けて品質
保持のトータルソリューションを提供しています。



エージレス®は日々の食材から菓子・嗜好品、非常食に至るまで、あらゆる食の安全・安心を支えています。



エージレス®やファーマキープ®は医薬品や医療機器の品質管理にも使われています。



無酸素・乾燥状態を維持できるRPシステム®は金属・電子部品の品質保証や美術品の保護にも役立っています。



ダイヤパワー®FPは食品添加物規格を満たした過酢酸製剤で、食肉、果実、野菜の食中毒菌の殺菌に効果が高く、殺菌力が失われにくいという特徴を有します。

主要製品

- エージレス®
- エージレス・オーマック®(脱酸素フィルム)
- ファーマキープ®(医薬品・医療機器用)
- 水処理剤
- 環境薬剤
- エージレスドライ®(乾燥剤)
- アネロパック®(嫌気培養システム)
- RPシステム®(電子・機械部品・美術用)
- ダイヤパワー®FP(食添用過酢酸)



「エージレス®」は日本をはじめ世界各国で利用されています。

“いま”に甘んじることなく、その先へ。 技術と製品で新たな道を切り拓く。

三菱ガス化学グループでは、保有する事業・製品間のシナジーを最大限に活かすとともに、他社との事業提携やM&Aも検討し、新規事業の創出に積極的に取り組んでいます。

■ 主要な開発テーマと開発品

- 開発分野
● 医療
● 食品
● モビリティ

● 医療包材—OXYCAP™



酸素バリア性・酸素吸収性に優れた、新しいプラスチック容器です。破損しにくいことに加えて、タンパク質の吸着性が低く、容器からの溶出物が少ないというプラスチックの特長を活かした、バイアル瓶タイプの製品です。

● 固体電解質



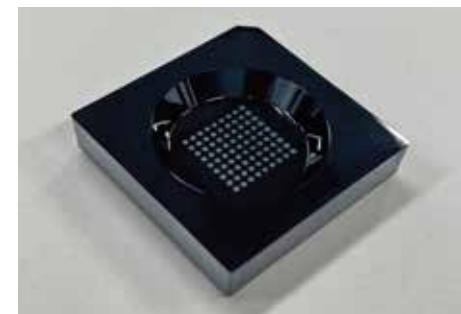
全固体電池は、高い安全性を保ちながら、高出力化・大容量化が可能な次世代電池として、電気自動車や電化製品分野での活躍が期待されています。その実用化に向けて、現在主流であるリチウムイオン電池で使用されている液体電解質を代替する固体電解質の高性能化・量産化に取り組んでいます。

● 工場生産野菜



野菜流通ベンチャーと合弁会社MGCファーミックスを設立し、東日本最大級の完全人工型植物工場にて、レタスを始めとする葉菜類の生産・流通・販売を開始、工場生産野菜事業に本格的に参入しました。国際認証規格であるGROBAL G.A.Pを2020年に取得し、安心・安全な野菜を安定して提供しています。

● アレルギー診断チップ



QOLの向上に貢献が期待される、アレルギー物質と結合してアレルギー反応を引き起こす血液中の抗体を測定するチップを開発しています。アレルギー物質を複数の断片に分けて同時に測ることで、抗体がアレルギー物質のどの部位と結合するのかを検査できるため、既存の手法より精度の高い情報を得ることができます。

Research & Development

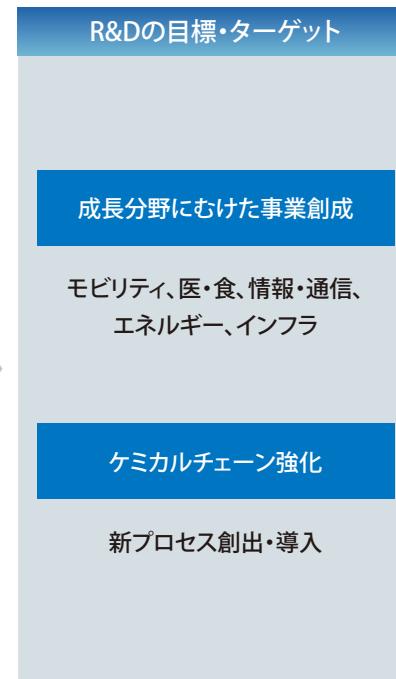
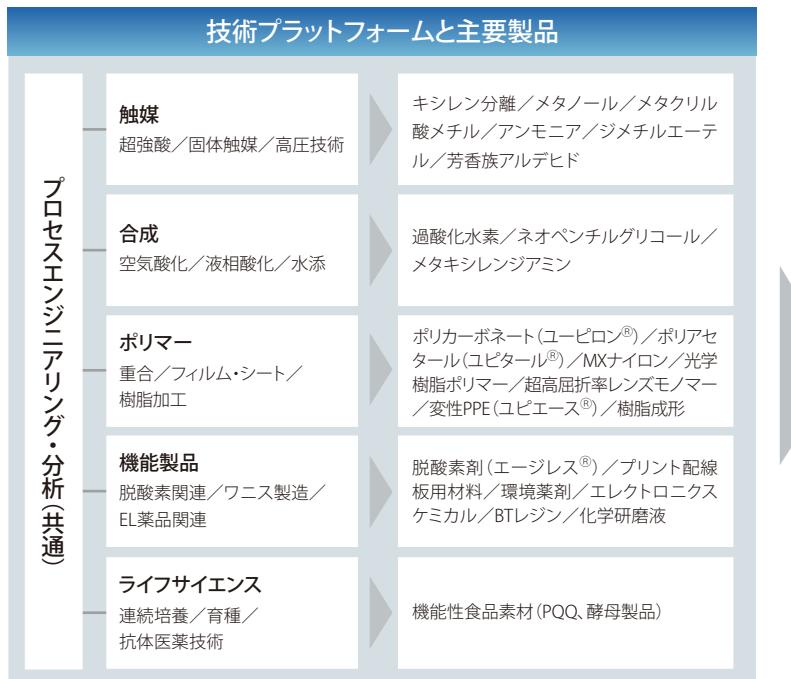
研究開発「社会と分かち合える価値の創造」の推進。

三菱ガス化学グループでは、従来よりユニークな独自技術を開発し、社会の要請に応える価値ある製品を開発してきました。既存の製品については技術の改良にたゆまず取り組み、収益力の強化や環境負荷の低減に努めています。

新製品、新規事業の創出については、社会のニーズは何か、三菱ガス化学グループの技術が活用できる場面はないか、その技術は環境にやさしいか、等々を常に考え、新しい製品・新しい事業を継続して生み出すことにより、新しい価値を創造していきます。

研究開発戦略

三菱ガス化学の研究開発は特色のある優良化学会社を目指すための重要な手段として位置付けられています。三菱ガス化学では長年培ってきたコア技術を最大限に活用し、新プロセス創出・導入によるケミカルチェーンの強化、今後成長の見込めるモビリティ、医・食、情報・通信、エネルギー、インフラの5つのターゲット領域に対して重点的に研究開発を推進していきます。



東京研究所



新潟研究所

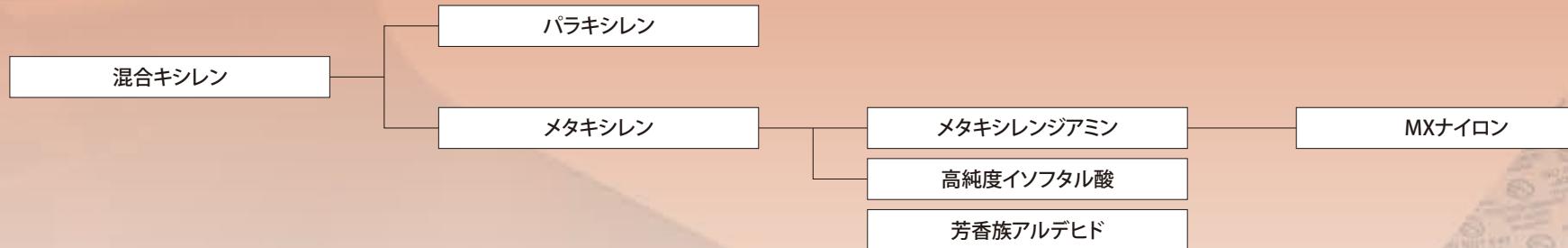


平塚研究所

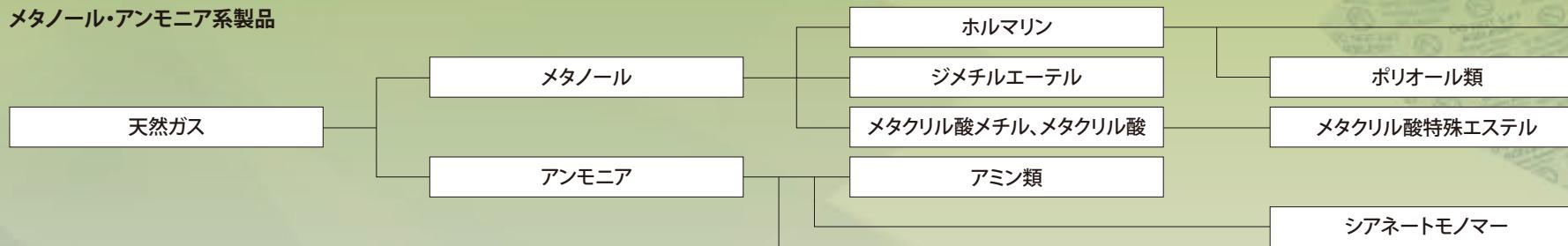
Product Flow

ケミカルチェーンからハイパフォーマンスまで。

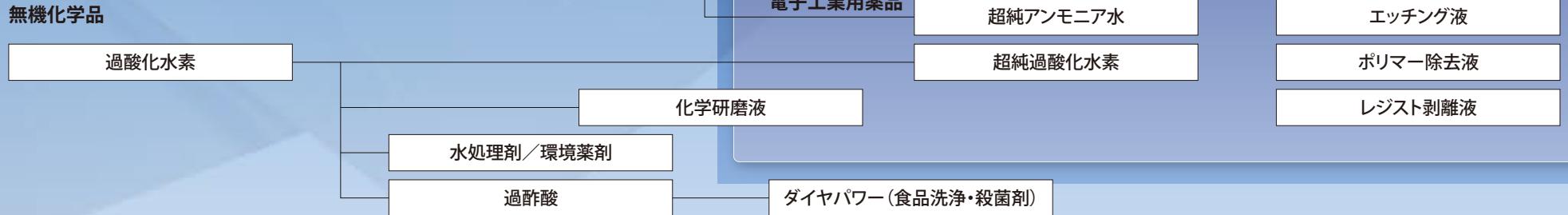
キシレン分離・誘導品



メタノール・アンモニア系製品



無機化学品



過硫酸塩類

合成樹脂(エンプラ)

レニー®(高性能ポリアミド)

ポリカーボネート

ユーピロン®

ユーピロン®・シート

ユーピロン®・フィルム

ユピタール®(ポリアセタール)

ユピエース®(変性PPE)

バイオ

健康食品素材(PQQ)

光学材料

光学樹脂ポリマー

溶剤可溶型特殊ポリカーボネート樹脂

超高屈折率レンズモノマー

電子材料

OPE®誘導体

BTレジン

LEシート®(ドリル加工用補助材料)

プリント配線板用積層材料

BT材料

BTCOPPER™

脱酸素剤

エージレス®

ファーマキープ®(医薬品・医療機器用)

エージレス・オーマック®(脱酸素フィルム)

RPシステム®(電子・機械部品・美術用)

エージレスドライ®(乾燥剤)

アネロパック®(嫌気培養システム)

会社概要

社名

三菱ガス化学株式会社

(登記社名:三菱瓦斯化学株式会社)

(英文表記: MITSUBISHI GAS CHEMICAL COMPANY, INC.)

所在地

〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル

創業

大正7年(1918年)1月15日

設立

昭和26年(1951年)4月21日

資本金

419.7億円

決算期

3月

拠点一覧

駐在事務所

上海事務所

台湾事務所

研究所

東京研究所

新潟研究所

平塚研究所

工場等

新潟工場

水島工場

四日市工場

●浪速製造所

●佐賀製造所

山北工場

鹿島工場

QOLイノベーションセンター白河

WEBサイトのご案内

事業を分かりやすく紹介するほか、製品情報なども検索しやすいつくりとしています。

スマートフォンにも対応しておりますので、ぜひご覧ください。

URL: <https://www.mgc.co.jp/>



主なグループ会社

国内

永和化成工業株式会社 [連]
MGCアドバンス株式会社 [連]
MGCウッドケム株式会社 [連]
MGCエージレス株式会社 [連]
MGCエネルギー株式会社 [連]
MGCエレクトロテクノ株式会社 [連]
MGCターミナル株式会社 [連]
MGCフィルシート株式会社 [連]
共同過酸化水素株式会社 [連]
株式会社グラノプト [持]
グローバルポリアセタール株式会社 [連]
株式会社JSP [持]
株式会社東邦アーステック [連]
東洋化学株式会社 [連]
日本・サウジアラビアメタノール株式会社 [持]
日本トリニダードメタノール株式会社 [持]
三菱ガス化学ネクスト株式会社 [連]
フード株式会社 [連]
ポリオールアジア株式会社 [連]
三菱エンジニアリングプラスチックス株式会社 [連]
三菱ガス化学トレーディング株式会社 [連]
米沢ダイヤエレクトロニクス株式会社 [連]
菱和エンタープライズ株式会社 [連]

海外

AGELESS (THAILAND) CO., LTD. [連]
BRUNEI METHANOL COMPANY SDN. BHD. [持]
KOREA ENGINEERING PLASTICS CO., LTD. [持]
KOREA POLYACETAL CO., LTD. [連]
METANOL DE ORIENTE, METOR, S.A. [持]
MGC ADVANCED POLYMERS, INC. [連]
MGC ELECTROTECHNO (THAILAND) CO., LTD. [連]
MGC PURE CHEMICALS AMERICA, INC. [連]
MGC PURE CHEMICALS SINGAPORE PTE. LTD. [連]
MGC PURE CHEMICALS TAIWAN, INC. [連]
MGC SPECIALTY CHEMICALS NETHERLANDS B.V. [連]
MGC TRADING (THAILAND) LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL AMERICA, INC. [連]
MITSUBISHI GAS CHEMICAL ENGINEERING-PLASTICS (SHANGHAI) CO., LTD. [連]
MITSUBISHI GAS CHEMICAL EUROPE GMBH
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SHANGHAI COMMERCE LTD.
MITSUBISHI GAS CHEMICAL SINGAPORE PTE. LTD. [連]
PT PEROKSIDA INDONESIA PRATAMA [連]
SAMYOUNG PURE CHEMICALS CO., LTD. [連]
TAI HONG CIRCUIT INDUSTRIAL CO., LTD. [持]
TAIXING MGC LINGSU CO., LTD. [連]
THAI POLYACETAL CO., LTD. [連]
THAI POLYCARBONATE CO., LTD. [連]



[連]連結子会社

[持]持分法適用会社

三菱ガス化学株式会社

〒100-8324 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル

Tel. 03-3283-5000 Fax. 03-3287-0833

www.mgc.co.jp

本紙の掲載内容は、2025年4月1日現在の情報に基づいています。

